

発行日：2012年1月10日
 龍谷大学ボランティヤ・NPO活動センター

2011年3月11日に発生した東日本大震災から約10ヶ月を経過し、被災された方々に改めてお見舞い申し上げます。ボランティヤ・NPO活動センターで継続的に復興支援に関する取り組みを行っています。また、復興支援の取り組み以外にも日常的なボランティヤのきっかけづくりにも取り組んでいます。

■■■■東日本大震災 復興支援プロジェクト ■■■■

東日本大震災復興支援フォーラムの実施 <10月22日～23日>

東日本大震災で深刻な被害を受けた被災地の明日を拓き、共に復興者として歩いて行くために、被災地の状況を踏まえながら、「震災復興に果たす大学の役割」を考えるフォーラムを龍谷大学の主催で2日間実施しました。

両日ともに80名の参加があり、講演内容や学生からの報告、教職員からの提言などに会場からさまざまな質問や意見が相次ぎ、非常に有意義なフォーラムとなりました。

10月22日

講演では、石巻市社会福祉協議会の阿部 由紀氏をお招きし、「震災から復興をめざす宮城県石巻市～学生ボランティヤに期待すること」というテーマで震災直後の動きや石巻市の復興に向けての取り組みなどについてご講演いただきました。

学生の活動報告として、東北福祉大学の石原 尚生氏とボランティヤ・NPO活動センターの学生スタッフ池内 亮太、歌藤 智弥からは、「震災から復興へ～共に歩むボランティヤ～」というテーマで被災地でのボランティヤ活動や募金活動などの報告がありました。

10月23日

基調講演として、石巻専修大学学長の坂田 隆氏をお招きし、「復興支援に果たす石巻専修大学の役割」というテーマで震災後の大学の対応や今後の取り組みなどについてご講演いただきました。

パネルディスカッションでは、「震災で変わる社会。復興への提言と大学の役割」というテーマで鍋島 直樹教授（文学部）、伊達 浩憲教授（経済学部）、筒井 のり子教授（社会学部）、黒川 雅代子准教授（短期大学部）の4名のパネリストがそれぞれの研究の立場からの発言や提言を行いました。

10月22日



石原氏の報告



阿部氏の講演



学生スタッフの報告

10月23日



パネルディスカッション



坂田学長の基調講演



質疑応答

復興支援ボランティア < 第3回 / 第4回 / 第5回 >

龍谷大学の主催で復興支援ボランティアとして宮城県で活動を実施しました。夏場は暑さ、冬場は寒さと厳しい環境の中でしたが、「少しでも被災地の力になりたい」という熱い思いをもった学生や教職員が活動を行い、活動後には「自分にできることを継続したい」といった声がありました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆第3回 8月4日～8月10日◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

教職員を含む 29 名が参加し、活動日 1 日目～3 日目は石巻市牡鹿町鮎川で被災にあった家の家財の運び出しを行いました。活動 4 日目は、宮城郡七ヶ浜町にて農地の整備を行いました。雑草を刈った後、ガラス片などを手作業で取り除き整地しました。活動以外にも地元の方に被災当時のお話を聞かせていただく機会もありました。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆第4回 11月11日～11月14日◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

教職員を含む 26 名が参加し、石巻市雄勝町で草刈りや泥かき、雄勝の特産品である硯石板の水洗いをし、2 日間で 8,000 枚以上の硯石板を洗いました。また 10 月に実施したフォーラムの基調講演者である石巻専修大学の坂田学長にお礼の言葉をいただきました。また、学生・教職員の活動を見た地元の海産物店が仮設店舗のオープン前にも関わらず、特別に商品を販売してくださいました。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆第5回 12月2日～12月5日◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

教職員を含む 23 名が参加しました。活動 1 日目の七ヶ浜町で予定していた活動は大雨のため中止となり、地元の方から、被災した当時のお話を伺いました。活動 2 日目は第 4 回目に続き、石巻市雄勝町にて硯石の洗浄などの活動を行いました。活動 1 日目には赤松学長と長野総務局長が復興支援ボランティアの活動参加者を激励しました。



◆◆◆◆第3回 活動報告会(9月29日) 第4回・5回活動報告会(12月12日)◆◆◆◆

第3回報告会



被災地での活動や現地の人との出会いなどを通じて、どういったことを感じたのかを共有するための報告会を開催しました。9月29日は約45名、12月12日は約60名が参加しました。

第4回・5回報告会



石巻市雄勝の物産品販売

< 深草 12月13日 / 瀬田 12月14日 / 大宮 12月15日 >

関西でもできる復興支援の取り組みとして、復興支援ボランティアでご縁のあった石巻市雄勝の物産品販売を深草、瀬田、大宮の3キャンパスで行い、海産物、硯やその加工製品、手作り雑貨類などを販売し、多くの方に購入いただいた結果、計586,750円の売り上げとなりました。

販売に参加した学生ボランティアからは、「この機会に雄勝町を知ってもらえて良かった。」「物産品を多くの人に買っていただき、少しでも復興への後押しが出来て嬉しい。」といった感想がありました。



深草キャンパスでの様子



瀬田キャンパスでの様子



大宮キャンパスでの様子

今年度7月～10月 実施事業の報告

夏季海外体験学習プログラム(8月20日～9月11日)・報告会(10月11日)

下記の3つのプログラムを実施しました。また報告会では、参加した学生や本プログラムに関心のある学生、このプログラムに関わった団体などを合わせて約30名が参加しました。

テーマ	訪問国	期間	参加者数
私からはじめる緑の再生	中華人民共和国	8月20日～8月26日	2名
体感！多文化共生の生活	タイ王国	8月22日～8月30日	6名
自分と、未来を変える旅	ベトナム社会主義共和国 カンボジア王国	8月31日～9月11日	7名



丸屋町商店街へのボランティア協力 (7月25日夜市、10月8日大津祭宵宮イベント)



大津祭宵宮イベント



大津市にある丸屋町商店街において、縁日での販売などのボランティアに計50名、大津祭の宵宮イベントのボランティアに計17名の本学学生がボランティアとして参加しました。

JICA 研修生へセンター取り組み紹介(9月9日)



12名のJICA研修生へセンターの取り組み紹介を学生スタッフなどが行いました。

福祉ボランティア・社協フェスタへ参加(10月2日)



京都市左京区にあるみやこめっせで開催されたイベントに東日本大震災の復興支援の取り組みやセンターの活動を展示しました。

今年度 10月～12月 実施事業の報告

大津祭へのボランティア協力(10月8日,9日)

JICA 研修生への大津祭の案内(10月9日)



曳山綱引きボランティア

大津市中心市街地で実施した大津祭に本学学生延べ 47 名が、宵宮スタンプテリング、曳山綱引き、警備、有料観覧席の案内など 5 つのボランティア活動を行いました。

また JICA 研修生へ大津祭の案内も行いました。



JICA 研修生の案内

スタディツアー説明会(11月9日)



ボランティア・NPO 活動センターと(特活)関西 NGO 協議会とマイチケットの共催でキャンパスプラザ京都において実施しました。

第 50 回おむすびミーティング(11月20日)



門川京都市長も含め、行政関係者、地域住民、学生が参加し、地域の防災について内容の濃いミーティングが行われました。

龍谷祭

(深草 11月4日～6日,瀬田 10月29日～30日)



深草



瀬田

東日本大震災復興支援に関する展示や取り組みの報告などを行いました。

おおつボランティア・市民活動フェスタ

(11月13日)



大津市にある明日都浜大津で東日本大震災復興支援に関する取り組みと大津市内でのまちづくりの取り組みを展示しました。

ボラセン秋のまち祭り(11月23日,26日)

伏見西部ふれあいプラザ(11/23)での清掃、舞台補助などのボランティア活動に計 19 名、深草 100 円商店街(11/26)でのイベントの遊びコーナーの補助などのボランティア活動に計 20 名が参加しました。



伏見西部
ふれあいプラザ



深草 100 円商店街

今後の活動について

・春季海外体験学習プログラム 夏季に続き、春季のプログラムも下記のとおり実施します。

テーマ	訪問国	期間
スマトラ島沖地震大津波から 7 年。 津波被災地の今を訪ねる津波復興タイ感ツアー	タイ王国	2012 年 2 月 17 日～2 月 25 日
貧困の中で生きる人々と出会い、向き合う旅	フィリピン共和国	2012 年 2 月 23 日～3 月 5 日
世界の屋根ヒマラヤの国環境を守る 「バイオガスプラント」支援活動	ネパール連邦民主共和国	2012 年 3 月 6 日～3 月 13 日

発行責任者 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 松島 泰勝
 URL : <http://www.ryukoku.ac.jp/npo/> 深草(内線1490) 瀬田(内線7252)
 MAIL : ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp